

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2017/10/30	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	株式会社ブイキューブ	
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1998年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		19年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒GTタワー20F
	事業所数(国内、国外)		国内:5		
	主な事業所の所在地		東京都(2ヶ所)、大阪市(1ヶ所)、名古屋市(1ヶ所)、福岡市(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	ビジュアルコミュニケーションツールの企画・開発・販売・運用・保守 企業などへのビジュアルコミュニケーションサービスの提供	
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	間下 直晃(ました なおあき)
			代表者写真	選択	記述有り(*)
			代表者年齢	選択	記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択	記述有り(*)
7	役員	役員数	選択	記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名		記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	選択	記述有り(*)	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円) 3,972,433,000円(2016年12月期)	
10		経常利益	選択	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円) 記述有り(*)	
11		資本金	必須	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円) 2,188,675,000円(2016年12月期)	
12		自己資本比率	選択	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%) 記述有り(*)	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%) 記述有り(*)	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%) 記述有り(*)	
15	財務信頼性	上場の有無	選択	株式上場の有無と、上場の場合は市場名 記述有り(*)	
16		財務監査・財務データの状況	選択	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない 記述有り(*)	
17		決算公告	選択	決算公告の実施の有無 記述有り(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択 記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択 記述有り(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択 記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択 記述有り(*)
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択 記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択 記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○ 情報セキュリティ基本方針書(自社HPIにおいても公開)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択 記述有り(*)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無	
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	あり:クレーム管理規程
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		経営陣の承認あり

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。
 (*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ビイクューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
-	サービス基本特性			
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	V-CUBE
		申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)		2003/7/16
28	サービス開始時期	サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	必須	<p>あり</p> <p>V-CUBE S&S</p> <p>4.10.3.0 2016/7/29 マネージャ機能追加</p> <p>V-CUBEミーティング4</p> <p>4.10.1.0 2016/4/8 ホワイトボード印刷高画質化</p> <p>4.10.2.0 2016/9/20 AMGリプレイス、エコメータ廃止</p> <p>4.10.3.0 2016/7/29 ターミナルアプリの予約ページに電話連携追加</p> <p>V-CUBEミーティング5</p> <p>5.3.0.0 2016/08/11 電話会議連携機能、ブラウザ版プレビューリリース</p> <p>5.4.0.0 2017/01/19 音声認識・翻訳(ベータ)</p> <p>5.5.0.0 2017/06/22 ホワイトボード機能、ストレージ機能</p> <p>5.6.0.0 2017/09/28 ホワイトボード機能追加、多拠点表示機能、遠隔ミュート機能</p> <p>V-CUBEコンタクトセンター</p> <p>5.4.0.0 2017/01/19 初期リリース</p> <p>5.5.0.0 2017/06/22 ホワイトボード機能、ストレージ機能</p> <p>5.6.0.0 2017/09/28 CCアウトバウンド窓口機能</p> <p>V-CUBEセミナー</p> <p>4.4.4.0 2016/02/17 オンデマンド視聴者名前入力機能、中国語繁体字対応 等</p> <p>4.4.5.0 2016/05/31 オンデマンドコンテンツの公開期間設定、IP制限機能、URLのhttps化 等</p> <p>4.4.6.0 2016/08/26 ビデオストリーミングサムネイル表示機能、視聴ログIP取得 等</p> <p>4.4.7.0 2016/10/28 ビデオストリーミングHTML5化、オンデマンドプレイヤーのカスタムエリア対応、モバイルアプリフルHD対応 等</p> <p>4.4.8.0 2016/12/13 OneからのSSO時のタイムゾーン対応、オンデマンド視聴履歴のグラフ改善 等</p> <p>4.4.9.0 2017/02/10 Liveセミナー予約時間制限 等</p> <p>4.4.10.0 2017/04/21 モバイルからの受講者発言機能、ムービー機能強化(一時停止、シーク) 等</p> <p>V-CUBE One</p> <p>1.1.4.0 2016/01/29 MS Office365連携、Seminar VS配信対応、限定ブランドIDホスト追加</p> <p>1.1.5.0 2016/03/01 Oneポータル一括メンテナンス機能追加、利用者管理モードを変更可能にする対応</p> <p>1.1.6.0 2016/09/02 Azure移設、PHP脆弱性対応、他</p> <p>1.1.7.0 2016/12/22 Oneポータル大規模集計対応、タイムゾーン対応、他</p> <p>1.1.8.0 2017/02/17 Oneオペレーションリニューアル、オンデマンドコンテンツ取得改善、他</p> <p>1.1.9.0 2017/06/02 VRJ向けローランプラン追加、Oneコントロールパネル利用者一覧CSV</p> <p>UTF-8対応、他</p> <p>V-CUBEマーケット</p> <p>1.0.10.0 2016/11/10 "新規コンテンツ(ライブセミナー/オンデマンド)の作成導線の停止、新規商品の作成機能の停止"</p> <p>V-CUBE Gate</p> <p>1.5.0 2016/03/01 ビデオ・音声送信機能 他</p> <p>1.6.0 2016/05/03 お知らせ表示機能 他</p> <p>2.0.0 2016/12/14 UI/デザインリニューアル、チャット検索、ムードステータス</p> <p>2.1.0 2017/02/28 画像複数送信、メンテナンス画面表示 他</p> <p>2.2.0 2017/04/18 メンション機能、チャット通知ON/OFF</p> <p>2.3.0 2017/06/15 組織タグ 他</p> <p>2.4.0 2017/08/11 ユーザー検索項目、表示名編集OFF、MTG利用時の暗証番号&部屋名表示追加</p> <p>V-CUBE Box</p> <p>1.2.2 2016/01/27 ・不具合修正・ホーム画面背景の固定画像化</p> <p>1.2.3 2016/02/24 ・フラットモード・AGGエコキヤン制御・カメラスピーカミュート</p> <p>1.2.4 2016/03/02 ・不具合修正</p> <p>1.2.5 2016/03/30 ・オンプレ対応・自拠点映像の非表示・プロキシの認証情報設定</p> <p>1.2.6 2016/04/13 ・帯域制御部屋対応・Win8.1→Win10アップグレード抑制</p> <p>1.2.7 2016/04/27 ・所在地設定</p> <p>1.2.8 2016/05/25 ・テレビ会議のアドレス帳</p> <p>1.2.9 2016/06/22 ・他拠点の強制退室・初回起動時ライセンス表示・リモコンでカメラミュート</p> <p>1.2.10 2016/06/29 ・Gateログイン不可対応</p> <p>1.3.0 2016/07/27 ・電話会議連携(仕込み)</p> <p>1.3.1 2016/08/10 ・電話会議連携(リリース)・録画開始/停止・入退室通知・負荷アラート</p> <p>1.3.2 2016/08/31 ・全画面表示・ログ出力(USB)・自動アップデート停止</p> <p>1.3.3 2016/09/07 ・WindowsUpdate停止・(不具合)H.323アドレス入力欄バリデーション解除</p> <p>1.3.4 2016/09/16 ・表示拠点数指定・(不具合)フリーズ問題・(不具合)退室時クラッシュ問題</p> <p>1.3.5 2016/09/28 ・(不具合)ローカル情報ファイルの2重化・(不具合)ネットワークチェック改善</p> <p>1.3.6 2016/10/05 ・ソフトウェアキーボード改善</p> <p>1.3.7 2016/10/19 ・(不具合)プロキシアドレスのバリデーション廃止</p> <p>1.3.8 2016/11/02 ・デュアルディスプレイ時の画面入れ替え</p> <p>1.3.9 2016/11/30 ・ログのサーバアップロード・全画面状態表示アイコン</p> <p>1.4.0 2016/12/29 ・Gateなしモード(Box-Box招待できない)・アップデート無効の挙動変更・ダンプログ出力設定・NTLM環境対応事前準備、証明書エラー時の表示改善、エラー0問題対応</p> <p>1.4.1 2017/01/27 ・予約に日付表示を追加・タッチ対応UI追加・起動・アップデートシーケンス見直し・GateなしモードGUI設定</p> <p>1.4.2 2017/01/27 ・タッチ対応2・アプリ終了モード・バックアップ復元・hosts編集</p> <p>1.4.3 2017/02/22 ・招待時自動入室・Windows 10 IoT 対応</p> <p>1.4.4 2017/03/29 ・サーブ証明書失効確認設定・(不具合)デバイス表示されない問題</p> <p>1.4.5 2017/04/26 ・暗証番号入室・表示名変更・会議室一覧表示改善・会議情報表示手順簡便化</p> <p>1.4.6 2017/05/24 ・Network Display 連携・お試し版アプリ・Wi-Fi対応(仕込み)</p> <p>1.4.7 2017/06/14 ・音量変更UI追加・不具合対応(アイ・オー・データ機器)・ネットワークディスプレイ連携挙動改善・Wi-Fi対応(仕込み)</p> <p>1.4.8 2017/07/05 ・Wi-Fi 対応・ログレベル変更・端末管理機能仕込み(管理者パスワード、端末初期化)</p> <p>1.4.9 2017/07/05 ・端末管理機能(仕込み)・起動時フリーズ問題(Powershell)・遅延問題(画面と帯域の連動設定)</p> <p>1.5.0 2017/07/26 ・端末管理機能(Phase1)・Network Display からの画面共有・セカンダリディスプレイのデザイン改善・hosts対応</p> <p>1.5.1 2017/08/02 ・(不具合)アカウント編集不可設定にした場合、ログイン画面でリモコン操作できない</p> <p>1.5.2 2017/08/23 ・スピーカー選択時既定化・CDN経由ダウンロード(仕込み)・パスワード保存チェックのログ</p> <p>1.5.3 2017/09/20 ・多拠点表示・遠隔ミュート・自拠点映像の鏡像表示・hosts対応</p> <p>1.5.4 2017/09/22 ・(不具合)Network DisplayのFW登録漏れ</p> <p>1.5.5 2017/09/27 ・ログイン画面からの暗証番号入室・テレキューブモード・(不具合)多拠点モード時の画面共有での画面割れ</p> <p>1.5.6 2017/10/13 ・テレキューブモード対応(テレキューブ用対応でクラウドリリースはしない)</p>
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。
 (*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	ブイキューブが提供するビジュアルコミュニケーションサービスは、離れた場所同士で、映像・音声を使い双方向で通信することで、離れていながらまるでその場に居るかのようなコミュニケーションを可能にしたサービスです。 特に、在宅勤務やテレワークに代表される、働き方改革を実現させるために必要不可欠な、人と人とのコミュニケーションをあらゆるシーンでサポートします。 主なサービスは会議などで利用可能な「V-CUBE ミーティング」、研修や教育で利用可能な「V-CUBE セミナー」、テキストチャットが可能な「V-CUBE Gate」などがあります。 また、導入後の運用サポートや24時間365日のカスタマーサポートや、などきめ細かなサービス提供を行い、日本の働き方改革をサポートしていきます。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		あり(V-CUBE ミーティング) ・PGI社との連携。PGI社の提供する電話会議システムからも会議への参加が可能。 ・Microsoft社との連携。日本マイクロソフトのクラウド型認証基盤「Azure Active Directory」を利用し、「Office 365」から「V-CUBE」へのシングルサインオン、ならびに、「V-CUBE」を利用するWeb会議やWebセミナーの予約情報の「Office 365」の「Outlook」へのスケジュール自動同期。 あり(V-CUBE Box) ・レノボ・ジャパン。日本市場をメインターゲットとして開発したレノボの「ThinkCentre M700 Tiny」を、「V-CUBE Box」本体の筐体に採用し共同でテレビ会議を共同開発、提供。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲 (契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	カスタマイズは、SIIにて対応
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	6ヶ月前
		告知方法		Webサイト、電子メール
33	サービスの事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		なし:原則として情報資産を保持しないため
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	カスタマーサポートセンター vsupport@vcube.co.jp TEL:0570-00-2192 24時間365日対応
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	V-CUBE ボイス、V-CUBE トランスレーターは、利用時間に応じた従量課金
		固定部分の課金方法		利用サービスごとに、利用プランに応じた基本料+オプション使用料を課金
36	サービス料金	初期費用額	必須	V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE ドキュメント、V-CUBE セールス&サポート、V-CUBE Gateに関しては、V-CUBE Oneという一括契約プランで契約が可能。V-CUBE Oneは、1ポートあたり¥5,500(ポート単位)。その他サービスに関しては、V-CUBE トランスレーター、V-CUBE アシスト: ¥30,000(ID単位) V-CUBE ラーニング: ¥300,000(1式)
		月額利用額		V-CUBE One(V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE ドキュメント、V-CUBE セールス&サポート、V-CUBE Gate含): 月額基本料 ¥11,000(ポート単位) V-CUBEトランスレーター: ¥5,000(ユーザー用デバイス/ID単位)、¥10,000(ビジネスサポート用PC/ID単位) V-CUBEアシスト: ¥1,000(ユーザー用デバイス/ID単位)、¥10,000(プロフェッショナル用PC/ID単位) V-CUBEラーニング: ¥800(～100名)、¥650(～300名)、¥500(～500名)、¥400(～1,000名)、¥350(～3,500名)、¥300(～5,000名)、¥280(～10,000名)、¥250(～15,000名)
		最低利用契約期間		利用開始日～翌月末

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。
(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
37		解約時ペナルティ	必須	あり: 解約後の残期間分の利用料相当額
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	あり: 利用期間終了の40日前
39		サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.962% (2016年10月1日～2017年9月30日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン6 対策参照値95%以上
		サービス稼働設定値	必須	・V-CUBEミーティング 2016/6/6 入室不可 2016/11/27 全停止(アクセス不可) 2016/11/28 全停止(アクセス不可) 2016/11/28 全停止(アクセス不可) 2016/12/13 全停止(アクセス不可) 2017/3/8 アクセス不可 2017/7/18 所在地「日本」で入室不可 2017/7/28 入室不可 2017/8/8 新規入室不可 2017/8/8 所在地「日本」で入室不可 2017/9/12 所在地「日本」で入室不可 2017/10/3 新規入室不可 2017/10/10 新規入室不可
		サービス停止の事故歴		・V-CUBEセミナー 2017/2/21 ライブセミナーへの入室不可 2017/3/29 講師、受講者ともにライブセミナーに入室不可 ・V-CUBE Gate 2017/8/4 メッセージ送受信不可、遅延 ・V-CUBE ONE 2016/11/16 ログイン不可 2016/11/22 ログイン画面へのアクセス不可 2016/12/12 ログイン画面へのアクセス不可 2017/3/31 DBサーバー停止
40	サービス品質	サービスパフォーマンスの管理	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41		サービスパフォーマンスの増強	選択	記述有り(*)
42		認証取得・監査実施	選択	記述有り(*)
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報保護方針に明記
44		脆弱性診断	選択	記述有り(*)
		診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)		記述有り(*)
45		バックアップ対策	必須	毎日
		バックアップ実施インターバル	必須	1世代
46		バックアップ管理	選択	記述有り(*)
47		受賞・表彰歴	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	必須	添付しません
49	サービス 利用量	利用者数	選択	記述有り(*)
50		代理店数	選択	記述有り(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE ビデオ、V-CUBE Gate、V-CUBE コンタクトセンター
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	apache PHP MySQLによりWEBサイトを構築、FlashMediaServerによりビデオストリームの配信等を行っています。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	株式会社ブイキューブ
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称 記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否 記述有り(*)		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	アプリケーション: 常時 プラットフォーム: 5分 サーバ・ストレージ: 5分 情報セキュリティ対策機器: なし 通信機器: 5分
		障害時の利用者への通知時間		障害検出後、1時間以内
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	あり
56		時刻同期	必須	NTP、NTPDATE
57		ウイルスチェック	必須○	あり
58		記録(ログ等)	必須○	あり: 最低3ヶ月
59		セキュリティパッチ管理	必須○	週次でバージョンアップミドルウェア・ソフトウェアの確認を行い、重大なセキュリティホールが修正が含まれていることを発見した場合は、原則としてそこから2週間以内でサービスへの適用を行う。
- ネットワーク				
60		推奨回線	必須	インターネット
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負いません。
61	回線	推奨帯域	必須	<V-CUBE ミーティング4、V-CUBE ミーティング5、V-CUBEドキュメント、V-CUBE コンタクトセンター> 下り: 512kbps以上、上り: 384kbps以上 <V-CUBE セミナー(講師)> 下り: 1Mbps以上、上り: 512Kbps以上 <V-CUBE セミナー(セミナー配信受講者)> 下り: 512kbps以上、上り: 256kbps以上 <V-CUBE ビデオ> 384kbps以上

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。
(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	Windows、Mac、iPhone、iPad、Android携帯電話、Androidタブレット端末、テレビ電話が使用可能な携帯電話
		利用するブラウザの種類	必須	<V-CUBEミーティング5> IE7以上、Firefox最新版、Google Chrome最新版 <V-CUBE ミーティング4、V-CUBEコンタクトセンター> IE7以上、Firefox最新版、Safari最新版 <V-CUBE セミナー> IE7以上、Firefox最新版、Safari最新版 <V-CUBE ビデオ> IE6以上、Firefox1.5以上、Safari2以上
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	あり
64		不正侵入検知	必須	あり
65		ネットワーク監視	選択	記述有り(＊)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	あり
67		ユーザ認証	必須○	ID、パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	SSL電子証明書採用により「なりすまし対策」としております(認証局発行の証明書による認証)
70		その他セキュリティ対策	選択	記述有り(＊)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用
72		所在地	必須	関東
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		あり: 免震構造	
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	10分以上給電可
75		給電ルート	必須	A系・B系別ルート配電
76		非常用電源	必須	あり: 冗長化発電機/備蓄燃料48時間分
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	あり: 窒素ガス消火
78		火災感知・報知システム	必須	超高感度火災予兆検知システム
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	あり: 内部避雷設備
80		誘導雷対策	必須	あり: 避雷器 600kV(1.2/50μs)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	記述有り(＊)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	あり: 保存期間最低2年
				あり: ITV監視(マシンルーム・共用部)/1年間画像保存
				あり(ICカード)
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	あり
		保管管理手順書の有無		あり
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	必須○	カスタマーサポートセンター vsupport@vcube.co.jp TEL: 0570-00-2192
				なし
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	24時間365日対応
		メンテナンス実施時間		窓口用には特別なシステムは使用していない
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	記述無し(*)
		放棄率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	当社サービスにまつわる対応全般
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、Webからの問い合わせ、当社サービスを利用したオンラインサポート窓口
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	サーバ冗長化によって実施
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	あり: 利用規約
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	2週間前
		告知方法		サービスのウェブサイトにて告知を掲載するほか、サービス利用ユーザへメール配信で告知を実施
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		あり
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	あり
93	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	なし: 障害発生時のみWebサイトで告知、定期報告は別途ご依頼頂いた場合に対応します。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。